

平成28年1月14日
— 小 創立記念日号
地域教育コーディネーター
山 口 律 子
— 小 ☎ 22・0069
FAX 22・0983
* カラー版は—小HPにて

やさしさに感謝

H27年度「5年生 ふれあい交流会」および
「6年生 地域交流プロジェクト」特集号

この大漁旗は5年生の手描きです！



「特集号」を発行する意義

当校では地域や家庭のご協力でもとても豊かな学びを展開しており、その様子を広く紹介し、感謝の気持ちを伝えたくてこの特集号を出しております。



ふれあい交流会で 豊作祝のソーラン節、決まったぜ！

5年生は12月18日に、総合学習で進めてきた「お米作り」の総まとめと家庭科の「食で元気に」という学習の炊飯実習を兼ねて、お世話になったJAにいつさつきの方、祖父母や地域のお年寄りをご招待した「ふれあい交流会」を実施しました。

各班でおもてなしを工夫し、自己紹介の練習や一緒にできる遊びを考え、けん玉、かるた、折り紙などの伝統遊びをしました。

児童からのプレゼントとして今年ずっと頑張ってきた「ソーラン節」を豊作に感謝して力いっぱい踊りました。「ありがとうの花」の合唱もきれいに声がそろいました。茶話会では自分たちの新米のおにぎりを食べてもらいました。約50名の地域の皆様に喜んでもらいたい一心で準備したことは何よりの学びになりました。ご参加、ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。



大成功でしたね。

ソーラン節の元気あふれる姿に感動しました。時間があっという間にすぎました。おにぎりを2個もありがとう。

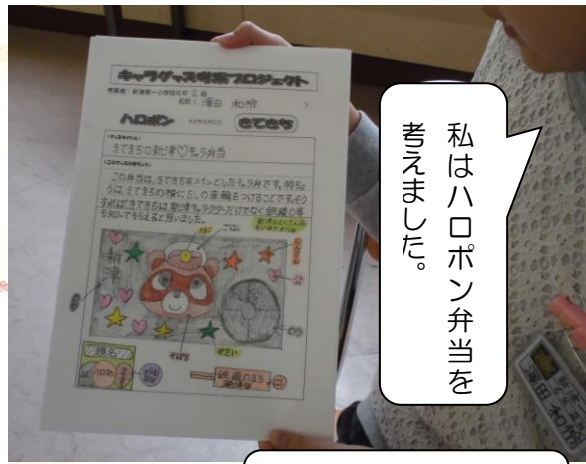
(地域ボランティア)

孫のために長岡から来ました。ご招待のはがきをもらってうれしかったです。大漁旗は自分たちで色付けしたと聞いて感心しました。よくできていました。

(5年祖父母)

民生委員さんからはがきをもらって出掛けてきました。校舎の2階まで上がるのは難儀ですが、今日は子どもたちから元気をもらえました。来てよかった。

(地域のお年寄り)



6年生のアイデアで 商店街を元気にしたい！

6年生が進めてきた「地域活性化プロジェクト」のひとつに「キャラクターグッズ考案プロジェクト」がありました。そこで商店街、ハロウィン実行委員会、新津中央コミ協、青少年育成会、FMにいつ、新潟日報などから11名のご参加を頂き、76名の児童がそれぞれに新津のキャラクターのグッズ（商品）を考えて、およそ150のアイデアを発表しました。きれいに色付けしたイラストを指さしながら工夫した点やこだわりポイントなどを自分の言葉でプレゼンテーションしました。日頃の練習のたまものでしっかりと発表できました。

来てくださった大人の方々はいろいろなブースを回りメモを取ったり質問をしてくださいました。国語の学習「新津の未来・幸福を考える」という学習から発展した学びが地域に浸透し、現実になんかが生まれるとしたら本当に素晴らしいですね。学校と地域、家庭の連携で子どもたちは学び育っていくという理想の姿を見た気がしました。こうして子どもたちは自分の故郷やそこに住む人々をますます大好きになっていくのだろうと感じました。これからがとても楽しみです。



発想が豊かですね。「できる」ことが前提でなく「こんなのがあったらいいな」の視点が新鮮でした。子どもたちの力は無限大ですね。素晴らしいです。

(参加者の声)

柔軟な発想を商店街の活性化につなぐというこの企画はすごいです。具体化していくのは大人の責任。こうして子どもと地域の関係が濃密化していくのですね。

また新しい年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

